

【令和3年度】 長野市自転車活用推進計画に係る 実績報告 (暫定版)



令和4年3月

長野市 地域・市民生活部地域活動支援課

建設部道路課

都市整備部交通政策課




1 キャッチフレーズ

自転車さっそうで「ながの」を早爽と ～自然・健康・家計にやさしいまち～

- ・自転車で風を切って爽快に、「ながの」の自然を感じられる
- ・日常的に自転車を利用することで、健康増進・環境負荷の低減につながる
- ・自家用車から自転車に乗り換えることで、“おさいふ”＝家計にもやさしい

※「早爽（さっそう）」は、自転車で走る早さと、爽快感をイメージした造語。

2 目標像

-  通勤・通学や買い物などで自転車が日常的に利用されている。
-  移動距離が5km以内の場合は、自転車が最有力候補となっている。
-  自転車が安全に安心して利用できるまちとなっている。

3 計画期間 令和2年度から令和6年度まで

4 基本方針及び指標と目標値

基本方針	指標と目標値
基本方針1 自転車を活用した ライフスタイルの定着	● 自転車を日常的に（週2、3日程度以上）利用する人が市民の50%以上 現状値 「ほぼ毎日」及び「週2、3日程度」の合計が45.1% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）
基本方針2 自転車通行空間等の整備	● 自転車ネットワーク路線における優先整備路線（計37.9km）の整備率が100%（整備計画延長24.6km） 現状値 整備率35.1%（整備済み延長13.3km）
基本方針3 安全に向けた啓発と 賠償責任保険加入の促進	● 自転車に関する事故件数が15%減 現状値 235件/年（令和元年）
基本方針4 自転車を活用した観光振興	● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の30%以上 現状値 「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が9.4% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）

5 実施スケジュール

基本方針	施策・事業	実施スケジュール				
		R2	R3	R4	R5	R6
1	自転車を活用したライフスタイルの定着					
	施策1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR					
	1 自転車の利用促進につながる広報啓発	■	■	■	■	■
	2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発	■	■	■	■	■
	3 自転車の利用促進につながるマップの作成				■	■
	施策2 自転車通勤等の促進					
	1 自転車通勤拡大のための広報啓発		■	■	■	■
	2 エコ通勤運動の推進		■	■	■	■
	3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進	■	■	■	■	■
2	自転車通行空間等の整備					
	施策3 通勤・通学路の重点的な整備					
	1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備	■	■	■	■	■
	2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用		■	■	■	■
	3 通行空間の利用方法、マナーの周知	■	■	■	■	■
	施策4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備					
	1 バス停周辺に駐輪スペースを設置		■	■	■	■
	2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営	■	■	■	■	■
	3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置	■	■	■	■	■
3	安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進					
	施策5 段階的な交通安全教育の推進					
	1 世代に応じた交通安全教育の充実	■	■	■	■	■
	2 自転車交通安全に関する人材の育成	■	■	■	■	■
	施策6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進					
	1 安全な自転車利用につながる広報活動	■	■	■	■	■
	2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施	■	■	■	■	■
	施策7 点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保					
	1 自転車保険の加入促進	■	■	■	■	■
	2 自転車の点検・整備の促進	■	■	■	■	■
	施策8 災害時における自転車の活用推進					
	1 災害時における自転車活用に関する検討	■	■	■	■	■
4	自転車を活用した観光振興					
	施策9 自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備					
	1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実		■	■	■	■
	2 利用拠点における利便施設の整備		■	■	■	■
	施策10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進					
	1 千曲川サイクリングロードの環境整備	■	■	■	■	■
	2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知	■	■	■	■	■

■：事業の取り組み状況

6 令和3年度の主な取組

■ : 令和3年度に取り組んだ事業

基本方針	施策		事業	
基本方針1 自転車を活用した ライフスタイルの定着	1	健康増進・環境負荷低減につながる 自転車の価値をPR	1	自転車の利用促進につながる広報啓発
			2	健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発
			3	自転車の利用促進につながるマップの作成
	2	自転車通勤等の促進	1	自転車通勤拡大のための広報啓発
			2	エコ通勤運動の推進
			3	公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進
基本方針2 自転車通行空間等 の整備	3	通勤・通学路の重点的な整備	1	自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間 の計画的な整備
			2	道路標識・道路標示の適切な設置・運用
			3	通行空間の利用方法、マナーの周知
	4	目的やニーズに応じた駐輪場の 整備	1	バス停周辺に駐輪スペースを設置
			2	市営自転車駐車場の適正な管理・運営
			3	鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置

基本方針	施策		事業	
基本方針 3 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進	5	段階的な交通安全教育の推進	1	世代に応じた交通安全教育の充実
			2	自転車交通安全に関する人材の育成
	6	自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進	1	安全な自転車利用につながる広報活動
			2	交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施
	7	点検整備・自転車保険の加入促進など安全通行の確保	1	自転車保険の加入促進
			2	自転車の点検・整備の促進
	8	災害時における自転車の活用推進	1	災害時における自転車活用に関する検討
	基本方針 4 自転車を活用した観光振興	9	自転車走行環境・サイクリスト受け入れ環境の整備	1
2				利用拠点における利便施設の整備
10		サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進	1	千曲川サイクリングロードの環境整備
			2	新たなサイクリングコースの設定と広報周知

7 令和3年度に取り組んだ事業

基本方針1 自転車を活用したライフスタイルの定着

該当する SDGs の目標（ゴール）：



【指標と目標値】

指標と目標値

- 自転車を日常的に（週2、3日程度以上）利用する人が市民の50%以上
現状値 「ほぼ毎日」及び「週2、3日程度」の合計が45.1%
 （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）

【施策及び事業】

施 策	1 健康増進・環境負荷低減につながる自転車の価値をPR
事 業	1 自転車の利用促進につながる広報啓発 2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発
令和3年度事業内容【計画】	
1 自転車の利用促進につながる広報啓発 (1) 自転車のルール・マナーや駐輪場等の適正利用に関する記事を広報ながの4月号へ掲載 (2) 自転車の利用促進につながるチラシ等を活用した広報啓発 (3) 市内高校等へ自転車の適正利用及び整理区域ガイドMAPを配布（4月）	
2 健康増進・環境負荷低減につながる広報啓発 (1) 自転車活用を含めた効果的な身体活動・運動について広報ながの5月号に掲載 (2) 職場向け健康通信による健康増進と自転車活用を含めた身体活動・運動について普及啓発（9月号）	
令和3年度の取組内容（結果）	
◆ 自転車のルール及び駐輪場、整理区域等の適正利用に関する記事の掲載（広報ながの4月号） ◆ 市内全高校及び専門学校、短大、大学に、自転車の適正利用ポスター等を配布（R3.5月） ◆ 自転車利用促進チラシを作成し、ホームページへ掲載（R3.6月） ◆ 自転車利用促進ポスターを作成し、ホームページへ掲載（R4.2月） ◆ 市政番組（長野ケーブルテレビ）及び市公式YouTubeにおいて、自転車の利用促進啓発（R4.3月） ◆ 自転車を活用した効果的な身体活動・運動に関する記事の掲載（広報ながの5月号） ◆ 職場向け健康通信による健康増進と自転車を活用した身体活動・運動について啓発（9月号）	
次年度計画 （予定）	・ 広報ながの、市ホームページ等を活用した広報啓発 ・ 自転車の利用促進につながるポスター・チラシ等を活用した広報啓発 ・ 自転車を活用した効果的な身体活動・運動について広報ながのに掲載 ・ 職場向け健康通信による健康増進と自転車を活用した身体活動・運動について啓発（9月号）

【施策及び事業】

施 策	2 自転車通勤等の促進
事 業	1 自転車通勤拡大のための広報啓発 2 エコ通勤運動の推進 3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進
令和3年度事業内容【計画】	
<p>1 自転車通勤拡大のための広報啓発</p> <p>(1) 広報ながの、ホームページ等を活用した、自転車通勤拡大のための広報啓発</p> <p>2 エコ通勤運動の推進</p> <p>(1) 交通事業者と連携を図りながら、企業等の協力を得て、マイカー通勤から電車やバス、自転車、徒歩などのエコ通勤への転換を促進</p> <p>3 公共交通と組み合わせた通勤・通学の推進</p> <p>(1) 鉄道駅における利便性向上のため、稲荷山駅自転車駐車場の屋根改修工事を実施</p> <p>(2) 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討</p>	
令和3年度の取組内容（結果）	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 自転車利用促進ポスター及びチラシを企業及び市公共施設へ配布（R4.3月） （市内企業130社、公共施設約30施設） ◆ FMぜんこうじを活用し、自転車通勤促進につながる広報啓発の実施（R4.3月） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 放送内容「駅や職場まで思い切って自転車を利用してみませんか 5キロ以内なら無理なく始められますよ 健康で 経済的 勿論CO2排出ゼロ！」 ➢ 実施期間 令和4年3月（月～金曜日 午前7時） ◆ しなの鉄道車内中吊り広告掲出によるエコ通勤の広報啓発（R4.1月～3月） ◆ 稲荷山駅自転車駐車場の屋根改修工事を実施（R3.9月） ◆ 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討 	
次年度計画 （予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・エコ通勤運動の推進 ・北長野駅南口自転車駐車場屋根修繕 ・主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討（継続）



【自転車利用促進ポスター】



【自転車利用促進チラシ】

基本方針 2 自転車通行空間等の整備



該当する SDGs の目標（ゴール）：

【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車ネットワーク路線における優先整備路線（計 37.9km）の整備率が 100%（整備計画延長 24.6km） <p>現状値 計画策定時：整備率 35.1%（整備済み延長 13.3km） 令和 3 年度末：整備率 45.8%（整備済み延長 17.35km）</p>
--------	--

【施策及び事業】

施 策	3 通勤・通学路の重点的な整備
事 業	1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備 2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用
令和 3 年度事業内容【計画】	
1 自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の計画的な整備 (1) 自転車通行空間設計 ➢ 自転車ネットワーク計画における優先整備路線 2 路線の詳細設計 (2) 千曲川新道 自転車道・遊歩道整備（松代地区 L=約 1.0 km）	
2 道路標識・道路標示の適切な設置・運用 (1) 自転車通行可歩道への注意喚起看板設置	
令和 3 年度の取組内容（結果）	
◆ 優先整備路線の 1 路線（新幹線側道（川中島～篠ノ井））について、詳細設計を実施（1 路線 4.0km） ◆ 新幹線側道（長野中央警察署裏）で矢羽根型路面標示設置（試験施工 0.15km） ◆ 千曲川新道 自転車道・遊歩道の整備 ➢ 若穂地区（綿内工区 L=0.50m） ➢ 松代地区（城北工区 L=0.35m、柴工区 L=0.4 km、清野工区 L=0.51m(R2)） ◆ 自転車通行可歩道への注意喚起看板設置の検討	
次年度計画 （予定）	・ 矢羽根型路面標示設置（新幹線側道、三輪幹線） ・ 注意喚起看板設置（自転車通行可歩道） ・ 千曲川新道 自転車道・遊歩道の整備（松代地区（城北工区 L=0.1m、柴工区 L=0.2 km））



【矢羽根型路面標示（新幹線側道）】

【施策及び事業】

施策	4 目的やニーズに応じた駐輪場の整備
事業	1 バス停周辺に駐輪スペースを設置 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置
令和3年度事業内容【計画】	
1 バス停周辺に駐輪スペースを設置 (1) 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討〈施策2-3(再掲)〉 2 市営自転車駐車場の適正な管理・運営 (1) 市営自転車駐車場の安全性の確保と利便性の向上のため、適正な維持・管理を行う。 3 鉄道駅周辺駐輪場へのサイクルスタンド等の設置 (1) 鉄道駅における駐輪場の充実を図る。(サイクルスタンド設置)	
令和3年度の取組内容(結果)	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 主要なバス停周辺における駐輪場整備に向けた検討〈施策2-3(再掲)〉 ◆ 市営自転車駐車場の安全性の確保のため、照明器具等の修繕を実施 ◆ 市営自転車駐車場へサイクルスタンド設置 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 北長野駅北口・篠ノ井駅西口・川中島駅高架下自転車駐車場 ※各1台(R3.11月) 	
次年度計画 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> ・北長野駅自転車駐車場照明LED化工事 ・市営自転車駐車場へサイクルスタンド設置(3箇所設置)

～ サイクルスタンド設置 ～



【川中島駅高架下自転車駐車場】



【北長野駅北口自転車駐車場】

基本方針3 安全に向けた啓発と賠償責任保険加入の促進

該当する SDGs の目標（ゴール）：



【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車に関係する事故件数が 15% 減 <p>現状値 計画策定時：235 件/年（令和元年） 令和 3 年 12 月末時点：223 件 現状値との比較 5.1% 減</p>
--------	---

【施策及び事業】

施 策	5	段階的な交通安全教育の推進
事 業	1	世代に応じた交通安全教育の充実

令和 3 年度事業内容【計画】

1 世代に応じた交通安全教室の充実

- (1) 保育園や学校、老人クラブ等が開催する交通安全教室へ講師を派遣し、世代に応じた交通安全教室を実施（通年）
- (2) 保護者向け自転車交通安全教育等を実施
- (3) 交通ルールとマナーを守った自転車利用の重要性を認識してもらうため、体験型交通安全教室を市内の中学校 2 校で実施（9 月予定）

令和 3 年度の取組内容（結果）

1 世代に応じた交通安全教室の充実

- ◆ 交通安全教室を随時実施（12 月末時点で 84 回・6,000 人）
 - ・ 園児：47 回（2,569 人）
 - ・ 小学生：12 回（1,553 人）
 - ・ 高齢者：22 回（545 人）
 - ・ 一般・その他：3 回（1,333 人）



【高齢者を対象とした教室】

2 体験型交通安全教室の実施

- ◆ シニアセーフティークラブを対象とした自転車シミュレータによる研修会を実施（R3.7.26）
- ◆ 篠ノ井東中学校（約 403 人）及び東北中学校（約 565 人）でスケアード・ストレート実施（R3.9.10）

次年度計画 （予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児から高齢者まで幅広い世代に応じた交通安全教育の実施 ・ 育成会等で自転車に特化した交通安全教室の実施 ・ 体験型交通安全教室の実施
---------------	---

【施策及び事業】

施 策	6 自転車の交通安全に関する広報啓発活動の推進
事 業	1 安全な自転車利用につながる広報活動 2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施

令和3年度事業内容【計画】

1 安全な自転車利用につながる広報活動

- (1) 自転車に特化した自転車ルールブックを作成し、ホームページに掲載
- (2) 市内の全高校に対し、自転車事故による損害賠償事例を掲載したポスターを配布（4月）
- (3) 市政番組や機関紙等へ自転車利用時のルール遵守に関する記事を掲載（通年）
- (4) 警察や交通安全協会等と連携した街頭啓発活動を実施（随時）

2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施

- (1) 市内を走る路線バスに思いやり運転を呼び掛ける横断幕を掲出し、市民への周知を実施（7月～9月）
- (2) 桃太郎旗を掲出した人波ロード作戦を実施（随時）

令和3度の取組内容（結果）

1 安全な自転車利用につながる広報活動

- ◆ 市政番組（FMぜんこうじ）での自転車事故のリスクとヘルメット着用をPR（R3.4.7/R3.9.14）
- ◆ 自転車利用時のルール遵守に関する記事の掲載（広報ながの4月号、9月号）
- ◆ 街頭啓発活動の随時実施（12月末時点で15回）
 - 【4月】横山小公園前
 - 【5月】西尾張部交差点
 - 【6月】西尾張部交差点、長野南高校前
 - 【7月】西尾張部交差点、松代中学校、Mウェーブ前
 - 【8月】西尾張部交差点
 - 【9月】西尾張部交差点、東和田交差点、上高田交差点
 - 【10月】西尾張部交差点、
 - 【11月】西尾張部交差点、北原信号交差点
 - 【12月】西尾張部交差点



【長野南高校前】

2 交通安全運動を活用した街頭啓発活動の実施

- ◆ 長電バス・アルピコ交通のそれぞれの路線バスに合計60枚のバスマスクを掲出
（掲出期間：7月22日～9月30日）
- ◆ 季別の安全運動での人波ロード作戦
 - 実施日：夏のやまびこ交通安全運動（7月21日）市役所前、（7月26日）おぎのや前
 - 秋の全国交通安全運動（9月21日）市役所前、川中島古戦場前
 - 年末の交通安全運動（12月15日）市役所前、川中島古戦場前

次年度計画
（予定）

- ・ 市政番組や市政機関紙への記事掲載
- ・ 関係機関・団体と連携した街頭啓発活動の随時実施
- ・ 季別の安全運動での思いやり運転に関する広報の実施

【施策及び事業】

施 策	7 自転車保険の加入促進・点検整備など安全通行の確保
事 業	1 自転車保険の加入促進 2 自転車の点検・整備の促進
令和3年度事業内容【計画】	
<p>1 自転車保険の加入促進</p> <p>(1) 様々な機会を通じて自転車損害賠償責任保険等への加入の必要性を周知し、加入を促進（随時）</p> <p>2 自転車の点検・整備の促進</p> <p>(1) 交通安全教室などを通じて、自転車の日常点検の必要性と方法を周知し、点検・整備を促進（随時） 自転車販売店と連携し、点検・整備を促進する広報啓発を検討</p>	
令和3度の取組内容（結果）	
<p>◆ 市内全高校に対し、自転車ルールへの遵守と損害賠償事例、保険加入を促すポスターを配布（R3.5月）</p> <p>◆ 交通安全教室における自転車の点検・整備の啓発（随時）</p> <p>◆ 市政番組（長野ケーブルテレビ）において、自転車損害賠償責任保険等の加入促進啓発（R4.3月）</p>	
次年度計画 （予定）	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室における自転車の点検・整備の啓発 あらゆる機会における自転車損害賠償責任保険等の加入促進啓発



【自転車保険加入促進チラシ】



【ルール、点検・整備啓発チラシ】

基本方針4 自転車を活用した観光振興



該当する SDGs の目標（ゴール）：

【指標と目標値】

指標と目標値	<ul style="list-style-type: none"> ● 自転車の総合的な使いやすさを「満足」と感じる人が市民の 30%以上 現状値「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が 9.4% （令和元年度「自転車の利用に関するアンケート」による）
--------	--

【施策及び事業】

施 策	9 自転車走行空間・サイクリスト受け入れ環境整備
事 業	1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実
令和3年度事業内容【計画】	
1 交通結節点等におけるサイクリストの受け入れサービスの充実 (1) 輪行（※）で本市を訪れるサイクリストに対するアンケート調査の実施 JR 長野駅において、サイクリングを目的として輪行で本市に来訪するサイクリストを対象としたアンケート調査の実施による、輪行者の実態、ターゲット属性等の把握 実施時期：令和3年5月（ゴールデンウィーク中）に実施 (1) 長野駅における輪行作業推奨スペース明瞭化のための案内表示板等の設置に伴う関係各所との調整 前項により収集したデータを踏まえ、現在長野駅東口に設定している輪行作業推奨スペースの利用者目線での整備（案内表示板等によるスペースの明瞭化）を進めるため、長野市関係部署及びJR東日本長野支社等との調整を行う。	
令和3年度取組内容（結果）	
◆ 長野駅利用サイクリストを対象としたアンケート調査 輪行（※）で長野駅を利用するサイクリストを対象としてアンケート調査を実施し、本市を訪れるサイクリストの実態把握に努めた。 調査期日 令和3年5月1日（土）～4日（火・祝）各日午前7時～午前11時30分 輪行者数 26人（内アンケート回答者数18人） 主たる目的地 白馬村（鬼無里経由含む）、志賀高原（渋峠）	
次年度計画 （予定）	・長野駅における輪行作業推奨スペース明瞭化のための案内表示板等の設置に伴う関係各所との調整

（※）輪行 サイクリストが行程の一部を自走せず省略するために、公共交通機関で自転車を輸送することをいう。

【施策及び事業】

施 策	10 サイクリングコースの提案等による、サイクルツーリズムの推進
事 業	2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知

令和3年度事業内容【計画】

2 新たなサイクリングコースの設定と広報周知

●長野市観光振興課インバウンド・国際室

(1) 信越高原サイクリングモデルコースをフックとした、誘客促進プロモーションを展開
 信越圏エリアには平野部、山岳部、国立公園、温泉などのコンテンツがあり、誘客に適している。
 現在は新型コロナウイルス感染症に伴い観光需要は減少しているが、信越高原サイクリングコースを
 更に磨き上げ、他地域のサイクリングコースとの差別化を図り、アフターコロナの観光客増加を見込
 みプロモーションを行う。

(2) サイクリング旅行商品を造成する旅行会社を招請しFAMツアー(※)・商談会の実施
 新型コロナウイルス感染症の状態を鑑み、現地旅行会社だけではなく在日旅行会社を招聘し、
 FAMツアーや商談会を実施する。在日外国人や日本人富裕層に向けて信越エリアの観光資源や
 広域周遊サイクリングコースを発信することで認知度を高め、国内外問わず様々な層への誘客を強
 化する。

(※)FAMツアー：観光誘致のために、セールス先に対して行うセールスイベントのこと。

(3) 長野県が主導するサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」との連携
 長野県が主導しているサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」
 が主催する意見交換会等に参加し連携強化を図り、新型コロナウイルス感染症の状態を鑑み
 つつ長野県や周辺市町村と協力し、首都圏や東海圏在住の観光客を中心に誘致を促進する。

●(公財)ながの観光コンベンションビューロー

(1) 長野市内発着のサイクリスト目線の走りやすさを重視した新たなサイクリングモデルコースを
 造成する。(主には中級～上級者向け、3本程度の造成を予定している。)

(2) 前項で設定したコースも含め、サイクルツーリズム専用ウェブサイト「NAGANO CYCLING」にコー
 スデータを掲載し、情報発信に努める。

また、市内観光推進団体が実施している(または年度内に予定している)E-Bikeのレンタ
 サイクル等の情報を収集し、ウェブサイトで情報を発信する。

➤ サイクルツーリズム専用ウェブサイト「NAGANO CYCLING」 ⇒



(3) 長野県が主導するサイクルツーリズム推進団体「Japan Alps Cycling Project」との連携
 長野県が一体としてサイクルツーリズムを推進していくため、Japan Alps Cycling Project
 が主催する意見交換会等に参加し、連携強化を図る。

令和3年度の取組内容（結果）

長野市観光振興課インバウンド・国際室

- ◆ 信越高原サイクリングモデルコースをもとに「ナガノで楽しむサイクリングのご案内」というタイトルで長野市ホームページに掲載を行い、誘客促進を図った。また、エリア内にある観光協会と協力し、コース内の E-bike の利用について打合せを行った。(R3.4月)

➤ 「ナガノで楽しむサイクリングのご案内」 ⇒



- ◆ 長野県、新潟県、富山県にまたがる信越高原サイクリングモデルコースについて、OTA(※)を含む海外旅行会社及び国内旅行会社を招聘し、コースを巡る FAM ツアーの実施及び観光協会との商談会を設け、在日外国人や日本人観光客に向けて誘客を図った。(R3.10月、11月)
- ◆ 長野県（長野地域振興局・北信地域振興局）及び「Japan Alps Cycling Project」が主導する会議に参加し、長野市内におけるルートの制定に向けて、長野県や関係各課と協議を行った。(R3.10月)

ながの観光コンベンションビューロー

- ◆ 長野市内発着のサイクリングモデルコースの造成
 長野市を発着点とし、北信濃エリアを周遊するサイクリスト目線の走りやすさを重視した新たなサイクリングモデルコース3本を追加で造成した。
 なお、当該モデルコース情報については、令和4年3月をめどにサイクルツーリズム専用ウェブサイト「NAGANO CYCLING」に公開する。

【追加造成コースの詳細】

<中級者向けコース>

ルート：長野駅～丹霞郷～飯山市菜の花公園～中野市谷巖寺の桜～山ノ内町宇木の古代桜～長野駅
 距離：89.0km 所要時間：約4時間20分

<上級者向けコース①>

ルート：長野駅～戸隠～鬼無里大望峠～白馬峰方峠～大町市小熊山～小川村～中条～長野駅
 距離：136.3km 所要時間：約7時間

<上級者向けコース②>

ルート：長野駅～中野市～渋峠～中野市～長野駅
 距離：119.0km 所要時間：約6時間30分



- ◆ 「Japan Alps Cycling Project」・長野県（長野地域振興局・北信地域振興局）との連携
 Japan Alps Cycling Project 及び長野県（長野地域振興局・北信地域振興局）主催の会議やテストライド等に参加し、連携を図った。

次年度計画 (予定)	<p>長野市観光振興課インバウンド・国際室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信越高原サイクリングモデルコースの活用と誘客の促進 ・「Japan Alps Cycling Project」との連携とルートの確定 <p>ながの観光コンベンションビューロー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングイベント実施の検討 ・関係団体との連携強化
---------------	---

(※)OTA オンライントラベルエージェントの略語。インターネットのみで取引を行う旅行会社のこと。